

# 交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 年末年始加給金について  
交渉日時 平成27年10月2日(金) 15時00分～17時00分  
交渉場所 本庁8階 大会議室  
交渉出席者 当局側 土屋副市長 宇野市長公室長 星川副部長 波戸瀬課長  
岡部副課長 西川人事研修係長 雲丹亀給与係長  
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計13人

概要	要
組合の主張	<p>① 年末年始加給金問題は、条例化によって解決されたというのが組合の立場であるが、交渉することは拒否はしない。意見があることは理解しているが、当局は説明すべきことをしっかりと説明してほしい。この加給金の問題は、現場での理解が必要である。</p> <p>② ほとんどの職員が休んでいる中で、年末年始に出勤していることについての当局の思いを十分に伝える必要がある。特に清掃は年末に全市毎日収集という他市にはない取り組みをしている。重要な事業と位置付けて、引き続きやっていきたいと思っているなら、その思いを現場に伝えてほしい。</p>
当局の主張	<p>① 年末年始加給金の課題を現場で議論する中で、様々な議論が行われるものとする。 (環境改善などの問題も含めて、) 市民理解が得られる方策を見出していきたい。</p> <p>② 年末年始の業務に対する基本となる思いについては、労使で共有しなければならない。特に清掃ではそれができていないので、重要な事業であるという思いを現場に伝えていく必要がある。年末年始の事業については市民からも評価をいただいていると考えている。ただ、評価されていることと手当を支給することは別ものであると考える。</p>